

令和8年 第1回教育委員会（会議録）

令和8年1月14日（水）

午前9時30分～

坂祝町中央公民館 会議室

日程第1 開会

※教育長が開会を宣言する。

出席委員確認

教育委員	古田 博英
兼松 悟	
原口 かおり	
安江 紫乃	
教育長	渡辺 英哉
教育委員会事務局	教育課長 野口 友宏
こども課長	岩井 正義
教育課主幹	前田 加代子
教育課係長	林 伸孝

日程第2 前回教育委員会の確認

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

日程第3 教育長、教育委員報告事項

教育長 幼稚園のバスがなくなり、保護者送迎が始まりました。渋滞や事故などもなく、混乱なく送迎できているようです。職員がコーンを置いたりして対応していることで順調にいっていることだと思います。小中学校もインフルエンザがぶり返すこともなく、新しい年を迎えることができています。前回も説明させていただきましたが、全国学調の結果を教育課程の編成に取り入れていく中で、まとめの最後の5番目のところを担当が整理してくれました。またホームページにも掲載していきますが、子どもにどんな力をつけたいかというところで、「見通しをもつ力」「分かりやすく伝える力」「自分の変容に気付く力」「ICT機器を使いこなす力」「自分の未来をイメージする力」「まわりの人と一緒に解決する力」の6つの力をつけていきたいと思います。また、委員の方も思ってみえることがありましたら教えていただけるとありがたいと思います。

兼松委員 幼稚園の保護者送迎は混乱なくできているということですが、時間配分してずらしたことによるものですか。

こども課長 園児数も昔ほど多くないですし、預かり保育で早めに来る保護者もいます。給食センターの調理員にも別の場所に駐車するよう移ってもらえたので、入口の圧迫感もなくなりました。

兼松委員 全国学調の結果のまとめに「対話的な学びを通して、学びを深めている児童生

徒ほど平均正答率は高い」とありますが、授業態度と正答率を照合しているのですか？

教育主幹 児童・生徒質問紙の中に、仲間に対して自分の意見を言ったり意見を吸い上げたりして交流することが好きですか？という質問や、意欲をもって交流活動に取り組んでいますか？という項目があり、それらと正答率を照らし合わせた結果から分析しています。

古田委員 最近一番印象に残っているのは幼稚園のなかよし会で、まず、電子黒板の使い方が上手になったと思いました。去年は電子黒板でストーリーを追うということをしていましたが、今回は洞窟の中にある財宝の様子を見るようなことをしていて、なかなか衝撃的で効果的だなと思いました。また、目の不自由な子がタンバリンを叩いて、やれることをやって皆と一緒に活動するということに感動しました。先日のいじめ問題対策連絡協議会でも弁護士の先生が、お互いを思いやる気持ちやインクルーシブ教育が大切だということを話されていましたが、幼稚園はそれを実践していると思いました。幼稚園、保育園、学校でも障がいを持つお子さんを受け持つことは多いと思います。小学校の通級でも受け入れがとても優しいと聞いたことがあります。小さい頃からインクルーシブ教育を受けていると、多様性に対する寛容性が育ちやすいのではと考えました。また園長先生にも考えを聞いてみたいと思います。中学校の合唱祭では、自分も坂祝中学校の卒業生なので、中学生の校歌を聞くとぞくぞくするような嬉しい気持ちになります。また、友愛＆有志バンドの演奏のときの聴く側の生徒たちのノリがとても良く、音楽を楽しんでいて、いいかたちになっていると思いました。

兼松委員 相談員として不登校の子たちとよく面談をしますが、不登校にもいろいろなタイプがあります。まずは集団に馴染めなく不登校になっている子がいて、昔は強制的に集団行動をさせられていましたが、今は学校の対応も難しい時代になってきたと思います。自己表現ができないために外に出ていけない、自分の家族と一緒に食事もできないというような子なので、課題をつけて自分の言葉で表現できるようにさせたり、外へ出て行けるように話しています。また、すごく能力が高くて同級生と会話が合わず、学校へ行ってもつまらないという子もいます。コンピュータで理想のまちを作っており、重力がなかつたり地下組織を作ったりしていました。ドバイは石油で潤ったのではなく、港と航空で豊かになったとか、カイロは立地条件は良いが内戦がよくないなど、小学生とは思えない発言をしていました。木曽川でのラフティングが楽しかったと話していた子もいました。怖くなかったかと聞くと、怖いところもあったと話していました。二十歳を祝う会での議長あいさつの中で、町長がイタリアのマラネロへ行くということを言ってみました。今年の成人の中にもマラネロへ行った子がいました。予算の関係もあると思いますが、またマラネロとの交流を復活させてほしいと思いました。

安江委員 障がいを持った子が幼稚園に入園するときに、幼稚園も福祉課も相談に乗ってくださいり、加配の必要性も考えていました。入園してからも、その子がどのくらいみんなと一緒に参加できるか、親はどのくらい希望しているかを調整しながら、いろいろなことに参加していました。幼稚園から小学校へ上がるときも、しっかりと連携していて、安心感をもって小学校へ進むことが出来ていました。子ども同士の理解もあり、その子が出来ない事を他の子どもたちが受け入れており、その子も卑下することなく学校生活を送れており、先生たちのいろいろな調整があったからこそだと感心しました。先日は自分の職場で、青少年育成町民会議の企画で「食を通じての親子の絆」を目的に親子での収穫体験を行いました。農場の説明や、親子で糖度の高い物を選ぶ選手権などを行いました。小学校3年生以下の親子が多く、本当は来たことのない親子や中学生の親子にも、もっと参加してほしかったのですが、目的としては達成できていたと思います。アンケート結果がどうだったかまた見てみたいと思います。

原口委員 幼稚園のなかよし会を見させてもらいました。障がいを持った子どもたちの受け入れはスムーズで、特別扱いをしていない、みんなが特別に見ていないということに感動しました。先生のコメントが、見てほしいポイントを保護者に明確に伝えていたので、良い助言になっていたと思います。中学校の合唱祭もとても良く、講師の先生の指導により、こんなに良くなるものなんだと感心しました。前回の会議で兼松委員さんが話されていましたが、声の響きなども体育館よりいいので、中央公民館で行うのも良いと思います。全国学調のまとめで、「まわりの人と一緒に解決する力」とありましたが、社会も個人でなくチームで動くというやり方に変わってきています。個人にノルマが課せられるのではなく、例えば支店でノルマがあるなど、働きやすくなっていると思いますが、コミュニケーション能力などは大切になってくると思いますので、これから子どもたちにつけていく力としていい事だと思いました。

教育長 学校では1年生より2年生、2年生より3年生と、近くに目標となる存在があることは良い事だと思います。また、障がいのある子の受け入れについて、幼い子のほうが柔軟でたくましいところがあります。こうした子どもたちの姿に学ばなければならぬと思いました。

日程第4 議事

※事務局から資料に基づいて説明をする。

(付議事件)

議案第1号 坂祝町立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について

議案第2号 坂祝町通園バス及び預かり保育利用料等の徴収に関する規則を廃止する規則について

議案第3号 坂祝町幼稚園預かり保育実施要綱の一部を改正する要綱について

議案第4号 坂祝町幼稚園通園バス運行規程及び坂祝町幼稚園通園バス整備管理者職務
規程を廃止する規程について

- 兼松委員 預かり保育の申し込みは年度初めですか、随時ですか。
- こども課長 基本は年度初めですが、その都度も対応します。
- 兼松委員 バスは無くなるわけですが、運行規程も廃止する必要があるのですね。
- こども課長 有料バスなので運輸局に届け出が必要で、そのために運行規程が整備されていましたが、不要となったため削除するものです。
- 原口委員 入園願書の「入園させてください」という言葉に違和感を感じました。普通なら「入園を希望します」のようになるのではないか。廃止したバスはどうしますか。
- こども課長 バスは4社で見積入札を行い、売却して町の収入とします。

議案第5号 坂祝町公民館条例施行規則の一部を改正する規則について

- 兼松委員 図書室では利用簿を書かなければならぬとあります、書かなくても自由に出入りできるのではありますか。
- 教育課長 現在その運用をしていますので、今回の改正で削除します。

(報告事件)

報告第1号 坂祝町教育委員会後援名義使用許可事業の終了報告について

日程第5 その他

当面する教育関係諸行事について

※事務局から資料に基づいて説明をする。

日程第6 閉会

※教育長が閉会を宣言する。

閉会 午前10時22分